

「自己の生き方についての考えを深め、よりよく生きる子供を育てる道徳教育」

～主体的に考え、伝え合い、共に伸びる道徳科授業～

鳴門市林崎小学校
鳴門市撫養町立岩字内田73-1
088-686-2469

ねらい

子供たち一人一人が道徳的諸価値についての理解を基に自己を見つめ、多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めることができる道徳科授業の実践をめざし本主題を設定した。子供たちが自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として、他者と共によりよく生きることができるのではないかと考える。

取組の概要

主題に沿った道徳科授業の展開

- 主体的に考えることができるため、よりよい「発問」を取り入れた授業実践
- 自分の思いや考えを「伝え合う」ため、「ペア・グループ学習」、「役割演技」、「ICTの効果的な活用」を取り入れた授業実践

チームで行う研究授業・授業研究会

- チームで授業を「つくる」
 - ・指導案をチームで「つくる」
 - ・教材づくり・教室環境整備をチームで分担
 - ・ミニ研究会・模擬授業をチームで実施
- チームで授業を「みる」
 - ・「発問・活動見取りシート」の活用
- チームで授業を「考える」
 - ・「授業づくりチーム」、「参観者チーム」がそれぞれ協議を行う主体的な研究会の実施
- 徳島型メンター制度Ⅱを取り入れた研究会の実施

家庭や地域との連携

- 道徳のびっ子カードや学年だよりを通しての保護者との連携推進
- 地域と連携した取組の推進
 - ・地域と共に取り組む環境教育を通して、自然愛護やふるさとを愛する心の育成
 - ・地域と共に「七夕ふれあい集会」や「クリスマス会」を通して、自己肯定感や自己受容感の育成

伝え合う工夫



授業研究会



地域との連携

